

Library information

図書館だより

○中央 ☎072-950-5501 (月)休館 ○丹比 ☎072-937-2355 (金)休館
 ○陵南の森 ☎072-952-2750 (金)休館 ○羽曳が丘 ☎072-957-5553 (金)休館
 ○東部 ☎072-950-2002 (金)休館
 ○古市 ☎072-958-0050 (月)休館 開館時間 10:00～17:30
 ○ブックステーションはびきのコロセアム ☎072-937-7210 (火)休館 13:30～16:30 開館
 全館休館 毎月最終水曜(12月を除く・祝日の場合は翌日)

●開館時間 10:00～18:00 (中央は平日 10:00～20:00 土日祝 10:00～18:00)

おはなし会(2月)			今月の特集テーマ	
中央図書館	4日(土) 18日(土)	11:00～	一般	芥川賞・直木賞・いりんな賞
	12日(日) 26日(日)	13:30～	児童	にっぽんのみんなとむかしばなし
陵南の森図書館	5日(日) 12日(日) 25日(土)	11:00～	一般	想いを伝える
	18日(土)	15:00～		
	19日(日) 小さい子向き	11:00～	児童	LOVEの本
	19日(日) 少し長い話を聞ける子向き	11:30～		
東部図書館	8日(水)	10:45～	穴といえば?	
丹比図書館	25日(土)	10:30～	ねこの本 大集合ニャー!!	
古市図書館	18日(土)	11:00～	借りてやあ〜! 貸出0回の本! 第1弾	
羽曳が丘図書館	11日(土) 25日(土)	15:00～	恋の季節	

◇ご利用ください! はびきの電子図書館
 はびきの電子図書館は、羽曳野市立図書館の緑色の図書利用カードをお持ちの方なら、どなたでもご利用いただけます。電子図書は、図書館に来館しなくても貸出・返却ができ、スマホひとつでもどこでも読書を楽しめます。利用される方は、図書館ホームページにてパスワードの登録を行ってから、「はびきの電子図書館」のページにお入りください。
 電子図書の貸出・予約冊数 3冊まで (紙の図書とは別です)
 貸出期間 14日間 (継続貸出は1回のみ)
 ※1点ごとの電子図書には利用できる上限回数(または期間)があり、この制限を超えると電子図書館から削除されます。利用される方はあらかじめご了承ください。

【臨時休館のお知らせ】 羽曳が丘図書館は、電気設備工事のため以下のとおり臨時休館します。令和5年2月27日(月)・28日(火) なお、この日はブックポストもご利用いただけません。

今月の館内整理日は2月22日(水) 市内の図書館は全館休館となります。

◇羽曳野市立図書館雑誌スポンサー募集(令和5年度)

図書館では、令和5年度の雑誌スポンサーを募集します。図書館所蔵の雑誌が、地域の事業活動の身近な広告手段としてご活用いただけます。

【期間】4月～令和6年3月(年度単位) ※年度途中からはお問い合わせ 【費用負担】雑誌の購入代金1年間分を指定先に直接支払う
 【配架場所】市内図書館より選択 ※ブックステーションコロセアムは除く 【提供雑誌】図書館所蔵の雑誌から選択
 【対象】企業、商店、組織・団体 ※個人不可 ※所定の審査あり
 【広告表示方法】・雑誌の表紙面の透明カバーにスポンサー名を表示(縦3cm×横10cm以内)
 ・裏表紙全面に指定の広告を掲出
 ※詳細は、お問い合わせまたはウェブサイトをご覧ください。→「羽曳野市 雑誌スポンサー」で検索

＜令和4年度 雑誌スポンサー＞(敬称略、順不同)
 大阪府書店商業組合共同受注羽曳野市支部、(株)高松ギフトプランニング、羽曳野市商工会、お好み焼き「美吉乃」、(福)大阪福祉事業財団 高鷲学園、ガールスカウト大阪府第36団、恵我之荘商店会、(株)ライジング(朝日新聞 富田林北)

【問合せ】陵南の森図書館 ☎072-952-2750 FAX 072-955-5015

スポンサー名

全面広告

表紙
裏表紙

サラバール

ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)という言葉をご存知ですか?この言葉は、1999年の第87回ILO(国際労働機関)総会に提出された事務局長報告の中で初めて用いられ、「権利、社会保障、社会対話が確保されていて、自由と平等が保障され、働く人々の生活が安定する、すなわち人間としての尊厳を保つことができる生産的な仕事」とされています。

これは、国際的な開発目標であるSDGsにおいても重視されており、目標8に「包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間

らしい雇用を促進する」と位置付けられています。

少子高齢化の進展により、労働力の主力となる生産年齢人口が今後ますます減少するとの見通しから、日本全体の生産力および国力の低下が懸念されています。また、育児や介護との両立ができる柔軟な働き方へのニーズが高まっています。このような背景のもとで、国においては、働く人がそれぞれの事情や価値観に応じた多様な働き方を選択できる社会の実現に向けて、働き方改革を積極的に推進しており、従前に比べれば労働環境は改善しつつあります。

一方で、2022年にアメリカのギャラップ社が世界の労働者に対して行った、仕事に熱意をもって取り組んでいるかといった調査に

よると、日本ではその割合は5%で、調査対象129カ国中128位という結果となり、働き手の仕事への充実感・達成感は高まっていない状況がうかがわれます。

このような状況を踏まれば、ディーセント・ワークの実現に向けては、雇用者においても、単に仕事の量を削減するだけではなく、労働者が安心して前向きに働くことができる環境を整えることが必要です。

それぞれの職場において、雇用者と労働者の双方が働きがいのある人間らしい仕事について意識していくことが、一人ひとりが輝いて働くことができるための第一歩となります。ディーセント・ワークについて、一度考えてみてはいかがでしょうか?

はびきのしじんけんけいはつすいしんきょうぎかい
羽曳野市人権啓発推進協議会